



## サンゴを食べる貝②

### - サンゴ食巻貝 -

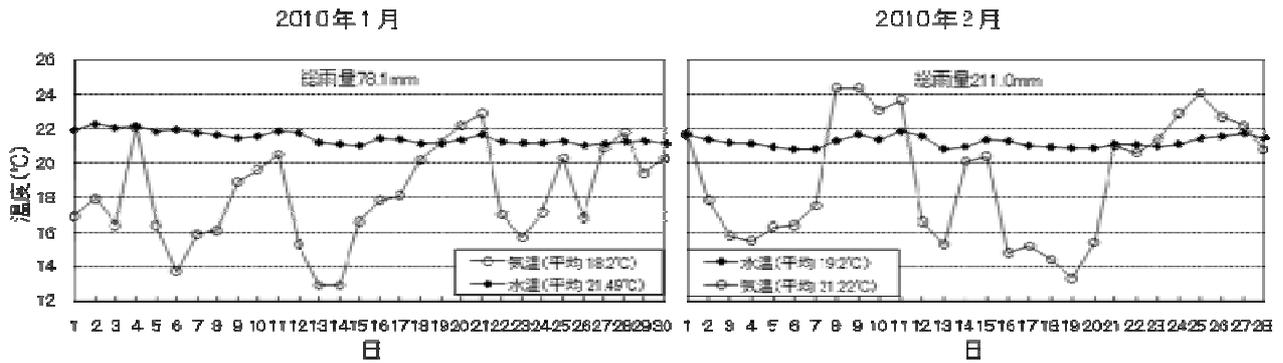
寒くなったり、あたたかくなったり、  
落ち着かない気候が続いていますが、海  
の中も 20 を下回るくらいに下がったり、  
22 をこえたりしています。一年のうち  
で 2、3 月が一番海水温の低い時期です  
から、そろそろ少しずつあたたかくなっ  
ていくのではないかと思います。とはい  
え、まだまだ冷たい海の中ですが、こ  
の頃時々一部分が死んで白い骨になっ  
てしまったサンゴを見かけます。どう  
やら巻貝に食べられたようです。今回  
はこのサンゴを食べる巻貝についてお  
話しましょう。

去年(2009年)の12月に、あか・げ  
るまダイビング協会の人たちが慶良間  
のさんご礁の調査をしました。どのくら  
いサンゴが活着しているか、小さなサ  
ンゴはいくつくらい育っているかなど  
、いろいろなことを調べましたが、そ  
の時調査した12地点のうち、8地点  
でサンゴを食べ

る巻貝が見つかりました。どの地点  
でも今のところ大きな被害は見られ  
ていませんが、実は2007年に5地点  
、2008年に6地点、そして2009  
年と、この貝類が観察される地点の  
数は増えてきています。このまま慶  
良間中の海に広がり、やがてサンゴ  
が被害を受けるのではないかと心配  
しています。

サンゴを食べる巻貝は、具体的には  
シロレイシガイダマシ類(クチベニ  
レイシガイダマシ、コシロレイシガ  
イダマシ、シロレイシガイダマシ、  
ニセシロレイシガイダマシ、ヒメ  
シロレイシガイダマシ)やサンゴヤ  
ドリ類(トヨツガイ、ヒラトヨツガ  
イ、ヒラドサンゴヤドリ)などです  
。また、オニツノガイ類のヨロイツ  
ノブエやコベルトカニモリ、フトコ  
ロガイ科のハナマツムシなどもサン  
ゴの上で集合しているのが見られる  
ので、もしかしたらサンゴを食べて  
いるのかもしれない。このうち、慶  
良間で多いのはシロレイシガイダマ  
シとヒメシロレイシガイダマシで  
、サンゴヤドリ類やハナマツムシ  
もいくらか見られます。マジャノ  
ハマでは、平らなコモンサンゴや枝  
状ミドリイシのすき間に大きめのシ  
ロレイシガイダマシが、こみ入った  
枝状やドームの形をしたミドリイシ  
の枝のせまいすき間にはヒメシロ  
レイシガイダマシが、そして枝状  
のハマサンゴの枝の根元付近には  
サンゴヤドリ類が見つかります。さ  
んご礁の中でこれらの貝たちがどん  
な役割

## 定点観測



を担当しているのかわからないので、むやみに駆除するのは問題かもしれませんが、マジノハマはサンゴの比較的よく残っている数少ない場所の一つなので、これらの貝を見つけたら、できるだけ取りのぞくようにしています。

シロレイシガイダマシやサンゴヤドリ類は、わりと簡単に捕まえられるのですが、ヒメシロレイシガイダマシは、なかなかやっかいです。ただでさえ、せまいすき間で取りにくいのに、この貝は危険を感じるとはり付いているのをやめて、ころんと転がってしまうのです。転がった先は、だいたいサンゴの枝の奥ですから、もう手が出せません。生き残るために身に付けた習性なのでしょうが、とても効果的で、敵ながらあっぱれです。けれど、ほめてばかりもいられませんので、こちらは先の長いピンセットを使ったり、サンゴの死んだ部分をこわしたりして、枝の奥の貝も、できるだけ全部取るようにしています。すると、時には長さ3mmくらいの小さな貝も見つかり、1つのサンゴから35個もの貝をつまみだしたこともあります。

これまでの研究所での研究結果から、台風などでたくさんのサンゴがこわれた後などにシロレイシガイダマシやヒメシロレイシガイダマシが増えやすいことや、傷ついたサンゴにシロレイシガイダマシが集まる性質があることがわかっていま

す。多くの地点でサンゴを食べる巻貝が見つかることを考えると、なにかの原因で広い範囲でサンゴたちが弱っているのかもしれない。また、まだ大発生はしていませんが、慶良間ではこれらの貝が年に何回も繁殖していることもわかっている。短い間に爆発的に増える可能性もあり、注意が必要です。これらサンゴを食べる貝の多い場所に気が付いたらぜひ研究所に教えてください。

### 阿嘉島の海より

2月27日に南米のチリで発生したマグニチュード8.8の地震によって津波が発生し、翌日、日本でも太平洋岸を中心に津波警報が発令されました。沖縄でも那覇では午後3時半頃に2メートルの津波が到達するという予報が流れ、そのため阿嘉島でも学校の体育館に100人ほどの住民や観光客が避難しました。その前日の早朝にも糸満市で震度5弱、座間味村で震度4の地震があったばかりでした。もともと地震の少ない沖縄本島でこの規模の地震が観測されたのは99年ぶりだそうです。今回の津波は結果的には午後4時-6時くらいの間に関内各地で数十センチ程度のものが観測されたようですが、大事には至りませんでした。避難していた人たちも夕方頃からそれぞれ家に戻ったようです。とはいえこの日は非日常的な一日を経験しました。